

ご支援・サポート

地球デザインスクールの活動に賛同いただいた方々からご支援をいただきました。(五十音順、敬称略)

ご寄付

奥谷 三穂、小島 広、畠 紀久子、広田 信夫

ボランティア活動

小林 秀美、嶋田 勇、清水 大智
倉野 良太

小島氏から多くの本やレコードなどをご寄付いただきました。多種多様なジャンルの本やレコードがあるので、お気に入りの1冊、1枚に出会えること思います。ご来園の際はぜひお立ち寄りください。(セミナーハウス2階「読書の森」にあります。)

人材育成

イベント運営補助で高校生によるボランティアの受け入れを行いました。インターンシップでは京都先端科学大学の学生を受け入れ、専門分野を活かし、公園の生物に特化した取り組みを通して学びの機会を提供しました。

ボランティア

20名(京都府立宮津天橋高等学校、京都府立峰山高等学校)

インターンシップ

5名 (京都先端科学大学)



職員研修

- ・発声講座(講師:小中太氏)
- ・滋賀県視察(NPO法人やまんばの会、NPO法人 里山保全活動団体 遊林会)
- ・NPO/NGO『支援力』応援プログラム
(主催:パナソニックホールディングス(株)、(特非)日本NPOセンター)

活動の様子

日々の活動の様子は、SNSにて随時更新しています。ぜひご覧ください!
(いいね!&フォローもお待ちしています!)



うみほし
#umihoshi

2024度運営体制

いつでもお気軽にお声かけください! 【かっこ内は現場職員の担当】

理事 市瀬 拓哉(理事長) / 奥谷 三穂 / 清水 瞳(事務局長) / 西原 重樹 / 野木 俊宏(園長) / 安田 潤
職員 岩下 昂央(広報) / 太田 征紀(設備) / 小島 広(整備) / 坂下 麗奈(宿泊)
瀬戸 由紀子(食事) / 德本 英明(体験) / 藤田 和也(整備)

「丹後海と星の見える丘公園」の
次期指定管理者に選定されました



2025年3月末をもって指定管理期間が満了となる
なか、地球デザインスクールが新たな5年間の指定
管理者に選ばれました。開園20周年を迎える
2026年には様々な企画を予定しております。

2024年度 活動報告書 ANNUAL REPORT

流星群キャンプ 2024

理事長あいさつ



市瀬 拓哉

2024年度は、さまざまな動きの萌芽が見られた年でした。

3年目を迎えた「けとはれのあわい」事業では基礎固めが整い、利用者がより良い経験価値を得られるための新たなステップへの一歩を踏み始めました。プログラムやフィールド利用においても表紙写真にのような流星群を楽しむファミリーキャンプや冬季の一部開園など初めての試みも含めて次のステップに向けての歩みをスタートさせた一方で、視察などで地球デザインスクールの過去の動きを知る機会もあり、温故知新の大切さを改めて感じた年でもありました。

また、今年度末には「京都府立丹後海と星の見える丘公園」の指定管理者にも再選定され、「滞在」「地域のハブ」「生物多様性」の3つの軸を基本方針として未来を見据えた運営を引き続き進めています。

2024年度のあゆみ

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2025年	
イベント・公園事業 プログラム	アースデイ丹後2024	ホタルウォーク (雨天のため中止)	たんごで「すごいぞ!」	流星群ナイト ・夏ガキになろう! 低学年編	里山ラソン2024 ・高等学校・中学への出前授業	・生物多様性センター共同事業	・イベント出店 (丹後ロバス2024)	・遷油搾りデイ	・クリスマスリースパン作り	
トピック 年事業	← 小学校受け入れ →		← 小学校受け入れ →		← 小学校受け入れ →		← 小学校受け入れ →		← 小学校受け入れ →	
トピック 年事業	プログラム実施者数 (環境教育プログラム参加者・イベント参加者)	環境教育事業 (うみほしデイ・星空観望会・森のワークショップ、フィールドビンゴなど)	生態調査 (モニタリングサイト 1000:6回、トキソウ・ハッショウウツボの個体数調査:計2回)	計 8 回の生態調査	延べ 2,781 名	延べ 514 名	モニタリングサイト 1000:6回、トキソウ・ハッショウウツボの個体数調査:計2回)	イベント出店 (京都教育大学連携プログラム)	・冬ガキになろう! 2025 (京都環境フェスティバル)	

丹後海と星の見える丘公園事業

プログラム

[環境教育プログラム]

- 森の楽校：427名
- 海の楽校：620名
- 里の楽校：487名
- 星の楽校：328名
- 京都自然塾：48名



[イベント形式開催]

- アースデイ丹後：450名
- 里山ラソン：32名
- 夏ガキになろう - 低学年編 - : 4名
- 夏ガキになろう - 高学年編 - : 7名
- 冬ガキになろう：8名
- 星空観望会（全10回）：231名
- 流星群ナイト：24名
- たんごで「すごいぞ！」：4名
- しょうゆ搾り体験：12名
- うみほしデイ（全9回）：61名
- どんぐりスペース：38名



[訪問プログラム・オンライン講座]

（全22回）：651名



公園管理

【公園PRポスター作製】



知名度向上を目的にNPO法人Co.to.hanaさんにご協力いただき、ポスター制作を行いました。手書きのイラストで公園が描かれており、公園の魅力が詰まった1枚となりました。

【魚魚（とと）ロード2オープン】



毎年、恒例となっている京都府立海洋高等学校の土木実習の受け入れを行い、体験学習の機会の提供と整備による公園の魅力化を図りました。本年は以前作った散策道の続きとなる「魚魚ロード2」を作りました。笹や樹木が生い茂る森の中を、ゆるやかな傾斜で無理なく歩けることを意識して整備を行なうなど、魅力的な散策路を高校生と手づくりしました。

【冬期開放DAY】



年末～2月末まで冬期休園ですが、冬の公園も楽しんでいただきたいと考え1月26日（日）に臨時開園を実施。残念ながら、雪が少ないタイミングでの開園となりましたが、来園者の方にはいつもは味わえない冬の公園を楽しんでいただけたと思います。令和7年度も冬期期間中の体験や開園を限定的に実施予定しています。

けとはれのあわい事業

コンセプトである「日々の暮らしにつながる場所」の思いを大切にし、おかげさまで3年目を迎きました。リピーター様もお越しいただける宿泊施設として多くのお客様をお迎えすることができた1年でした。お食事も好評であり「心に良い」「身体に良い」「環境に良い」「関係性が良い」を心掛けています。さらに明るさや音、匂い、温度など空間環境にも配慮してきました。



例年好評の手前醤油絞り体験も開催。子どもから大人まで搾りたての醤油の味を堪能しました。



イベント出店の様子

丹後口バスというイベントに「けとはれのあわい」で出店し、地域の方に「けとはれのあわい」のコンセプトや過ごし方の発信を行いました。

物販販売にも力を入れ地元企業、団体がつくる製品を厳選販売し、地域のハブとなるよう努めました。

基礎は整いましたので、宿泊オプションの充実を図り、より一層お客様に心地よく、ご滞在いただける空間造りを目指していきます。

NPO事業

組織力強化

【グッドガバナンス認証取得】



公益財団法人日本非営利組織評価センターが認証している、非営利組織としての「信頼性」を示す「グッドガバナンス認証」を取得することができました。認証取得には組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルであることが求められています。今後も信頼される非営利組織として引き続き活動を行なっていきます。



滋賀県視察「NPO法人やまんばの会」様



生態系保全

京都府登録天然記念物であり、準絶滅危惧種のハッショウトンボが今年度も発生しました。個体数調査の結果、最盛期で約180頭を確認することができ、昨年よりも増加していることが分かりました。

在来種保護の活動として、来園者とともに湿地に増えてきている「ウチワゼニクサ」の除草作業を実施。生態系保全について、外来生物と関わり方について知っていただくことができました。